



令和3年度 学校便り

与論中だより

令和3年11月18日 与論町立与論中学校

校訓
誠
協創自
体力
気力
調造主

第74回 文化祭 水滴石穿～己の手で成し遂げろ！The Sky is the Limit!!～

校長 徳重 正宏

2年越しの全体発表での文化祭。素晴らしい成果のうちに幕を閉じました。

今年度も、比較的落ち着きつつあるとはいえ、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、保護者、地域の方は入場を制限しての開催となりましたが、現状を理解していただき、大変感謝申し上げます。限られた中でも保護者の方に鑑賞いただけたことを嬉しく思います。

さて、全てのプログラム内容が今回も素晴らしく、テーマ性あり、問題提起あり、感動ありと素晴らしい発表となりました。

1年生の「浦島太郎」の劇は、デーバータイムで学習した海洋問題を、ユンヌフトゥバで発表し、海や与論のことを考えさせられるもので学習の成果が出ていました。

2年生の三線・ゆんぬ太鼓・エイサーは、どれも息の揃った素晴らしい演奏・演技で、迫力があり、鑑賞していて背筋がゾクゾクし、与論の伝統・文化を感じました。

3年生の劇「島だち」は、等身大の悩みや進路選択、将来との繋がりを表現し、身に迫るものがありました。途中のダンス等も、これまでの体育の学びを基に、振り付けや隊形移動等、創意工夫が見られる表現でした。次は現実世界の進路選択がすぐそばにやってきます。納得した上で進路選択を決定し、残りの期間でその努力を行いましょう。



他にも各学年代表の作文、吹奏楽部の素晴らしい演奏がありました。鑑賞態度もよく一体感のある校訓「創造」にふさわしい文化祭となりました。

また、展示発表も教科、部活動、委員会活動、特別支援学級等、とても素晴らしい発表でした。当日の発表とこれまでの皆さんの準備は、多くのことを学べたと信じています。

なお、今回は入場制限したこともあり、PTAや地域の皆様のお力も借りて映像配信を行うことができました。御協力いただいた皆様、ありがとうございました。

生徒会「軽石拾い in Yoron！」

先週の13日（土）午前中に与論中生徒会の呼びかけもあり、現在町の課題になっている軽石の清掃を全校生徒で行いました。題して「軽石拾い in Yoron」です。コースタル、大金久海岸、皆田海岸の3カ所に小学校区で分かれ、各箇所20袋前後の軽石を回収しました。与論の美しい海岸線を取り戻すために生徒達は本当によく頑張りました。

なんとと言っても生徒達の与論を愛する気持ちが嬉しかったです。中にはボランティアでも頑張っている生徒もおり、その姿に感動しました。

また、保護者も御協力くださり、ありがとうございました。



コースタルの活動の様子

文化祭の様子（11月5日実施）



国語科作文発表



1年生劇「浦島太郎～与論方言版～」



2年生伝統芸能「三線・ゆんぬ太鼓・エイサー」



3年生劇「島だち」



吹奏楽部演奏



P T A等による映像配信

「軽石拾い in YORON」の様子（11月13日実施）



大金久海岸（与論チーム）



皆田海岸（那間チーム）



コースタル（茶花チーム）